

平成 30 年度（2018 年度）

京都市立芸術大学 音楽学部

入 学 試 験 問 題

京都市立芸術大学

Kyoto City University of Arts — founded in 1880 —

目 次

第一次試験

作曲専攻	1
指揮専攻	7
ピアノ専攻	9
弦楽専攻	10
管・打楽専攻	13
声楽専攻	16
音楽学専攻	17

第二次試験

音楽通論	21
聴音書取（旋律聴音）	26
聴音書取（和声聴音）	27
新曲視唱	28
コールユーブンゲン視唱（声楽専攻のみ）	29
ピアノ新曲視奏（ピアノ専攻のみ）	30
副科ピアノ演奏（ピアノ専攻以外）	32

作曲専攻

(第1日) 和声法：A ソプラノ課題：与えられたソプラノに和声をつけ，4声体とすること。

B バス課題：与えられたバスに和声をつけ，4声体とすること。

両課題とも記譜は次のa又はbのいずれかを選択すること。

a ソプラノ，アルト，テノール及びバス記号による。ト音記号は用いない。

b ト音記号とヘ音記号の大譜表による。

実施例 (a,bによる記譜)は別記のとおり。試験時間各2時間30分

作品提出：自作品を1曲以上，試験当日に提出すること。(コピー譜を提出のこと。提出された作品は返却しない。)

(第2日) 二声対位法：与えられた全音符の定旋律に，対旋律をつくる。試験時間3時間

対旋律は，2分音符，4分音符，8分音符と移勢(シンコペーション)を含む，いわゆる自由(華麗)対旋律によるものとする。

解答は，次の1～6の6通りが必要である。

1：定旋律をバスに置き，対旋律をソプラノに作る。

2：定旋律をバスに置き，対旋律をアルトに作る。

3：定旋律をバスに置き，対旋律をテノールに作る。

4：定旋律をソプラノに置き，対旋律をアルトに作る。

5：定旋律をソプラノに置き，対旋律をテノールに作る。

6：定旋律をソプラノに置き，対旋律をバスに作る。

なお，定旋律は，ソプラノとバスにおいて，適宜移調してもよい。

記譜はa又はbのいずれかを選択すること。

a：ソプラノ，アルト，テノール，バス記号による。ト音記号は用いない。

b：ト音記号とヘ音記号の大譜表による。

実施例 (aによる記譜)は別記のとおり。

(第3日) 作曲：与えられた素材により器楽曲を作曲すること。試験時間4時間30分

(第4日) 面接を行う。

◎作曲専攻(第1日)和声法の実施例

*課題 {過去の出題(ソプラノ課題)より冒頭2小節}



*記譜bによる実施例



* 記譜 a による実施例

Andante (♩=72 ca.)

◎作曲専攻（第2日）二声対位法の実施例

* 記譜 a による実施例

定旋律

実施例

1

2

3

4

5

6

平成30年度

京都市立芸術大学音楽学部入学試験

作曲専攻・第一日：和声法（ソプラノ課題）

■ 次のソプラノの旋律に和声をつけ、四声体にしなさい。

記譜は、a. または b. のいずれかを選択する。

a：ソプラノ、アルト、テノール、バス記号による。ト音記号は用いない。

b：ト音記号とヘ音記号の大譜表による。

（試験時間 2 時間 30 分）

Allegretto

The musical score consists of five staves of music. The key signature is B-flat major (two flats). The time signature is 2/4. The tempo is marked *Allegretto*. The score includes dynamic markings (mf, mp, f, rit., p) and phrasing slurs. The notation is handwritten and appears to be a student's attempt at harmonic setting.

平成30年度

京都市立芸術大学音楽学部入学試験

作曲専攻・第一日：和声法（バス課題）

■ 次のバスの旋律に和声をつけ、四声体にしなさい。

記譜は、a. または b. のいずれかを選択する。

a: ソプラノ、アルト、テノール、バス記号による。ト音記号は用いない。

b: ト音記号とヘ音記号の大譜表による。

（試験時間 2 時間 30 分）

Allegro moderato

The musical score is handwritten on three staves. The first staff begins with a treble clef (likely a typo for bass clef) and a 4/4 time signature. The melody starts with a half note G2, followed by a quarter note A2, a half note B2, and a quarter note C3. The second staff continues with a half note D3, a quarter note E3, a half note F3, and a quarter note G3. The third staff continues with a half note A3, a quarter note B3, a half note C4, and a quarter note D4. The score ends with a double bar line and a 'f' dynamic marking.

平成30年度

京都市立芸術大学音楽学部入学試験

作曲専攻・第二日：対位法

■ 次の全音符の定旋律に、対旋律を1つ作り、二声体としなさい。

対旋律は、二分音符、四分音符、八分音符と移勢（シンコペーション）を含む、いわゆる自由（華麗）対旋律によるものとする。

解答は、次の1－6の6通りが必要である。

- 1：定旋律をバスに置き、対旋律をソプラノに作る。
- 2：定旋律をバスに置き、対旋律をアルトに作る。
- 3：定旋律をバスに置き、対旋律をテノールに作る。
- 4：定旋律をソプラノに置き、対旋律をアルトに作る。
- 5：定旋律をソプラノに置き、対旋律をテノールに作る。
- 6：定旋律をソプラノに置き、対旋律をバスに作る。

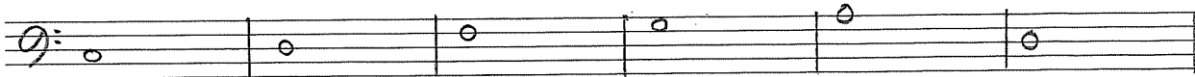
なお、定旋律は、ソプラノとバスにおいて、適宜に移調してもよい。

記譜は、a. またはb. のいずれかを選択すること。

a：ソプラノ、アルト、テノール、バス記号による。ト音記号は用いない。

b：ト音記号とヘ音記号の大譜表による。

（試験時間 3 時間）



平成 30 年度

京都市立芸術大学音楽学部入学試験

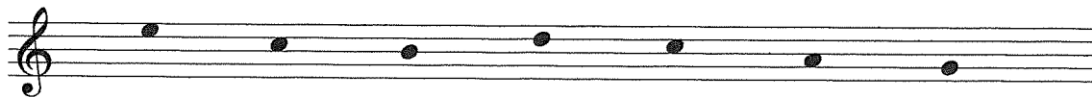
作曲専攻・第三日 : 作曲

◆次の素材により、器楽曲を作曲しなさい。

ただし、それぞれの音に、 $\sharp$ $\flat$ $\natural$ をつけることは可能である。

調性・拍子・速度・リズムは任意に設定すること。

(試験時間 4 時間 30 分)



指揮専攻

- (第1日) 1 下記の楽曲の指揮をすること。演奏箇所は、当日指定する。(演奏はピアノ2台による)
- (ア) L. v. Beethoven: 交響曲 第1番 ハ長調 作品21より第1楽章, 第4楽章
 - (イ) L. v. Beethoven: 交響曲 第2番 ニ長調 作品36より第1楽章, 第2楽章
 - (ウ) L. v. Beethoven: 交響曲 第4番 変ロ長調 作品60より第1楽章, 第2楽章
 - (エ) L. v. Beethoven: 交響曲 第7番 イ長調 作品92より第1楽章, 第2楽章
- 上記, 出版社は自由とする。
- 2 下記の楽曲による総譜視奏(スコアリーディング)
- (ア) L. v. Beethoven: 交響曲 第7番 イ長調 作品92より第2楽章
 - (イ) 初見視奏(当日提示する管弦楽曲)
- 3 既に習得しているピアノ以外の楽器(弦楽器, 管打楽器, ハープのうちいずれか1つ)若しくは声楽を演奏すること。その場合, 楽器は各自持参すること。ただし, コントラバスについては, 楽器を持参できない場合は, 本学で用意するので, 楽器を持参する可否かを願書に記入すること。マリンバについては, 本学で用意する楽器を使用すること。なお, すべて無伴奏とし, 演奏曲目を願書に明記すること。
- 4 和声法: 与えられたソプラノとバスの旋律に和声をつけ, 4声体とすること。
(記譜はト音記号とヘ音記号の大譜表による。) 試験時間3時間
- (第2日) 面接を行う。

平成30年度

京都市立芸術大学音楽学部入学試験

指揮専攻：和声法

- 次のバス、およびソプラノの旋律に和声をつけ、四声体にしなさい。
記譜は、ト音記号とヘ音記号の大譜表による。

(試験時間 3 時間)



ピアノ専攻

下記の楽曲を演奏すること。

(第1日) 1 ロマン派以降の作品から、練習曲以外の任意に選んだ作品。

(第2日) 2 F. Chopin：練習曲作品10及び作品25から任意の2曲を選択し、第1日目に、本人による抽選で、演奏する1曲を決定する。

3 J. Haydn 又は M. Clementi 又は W. A. Mozart 又は L. v. Beethoven の、任意のソナター曲全楽章を選択し、第1日目に本人による抽選で、演奏する(1つの、あるいは複数の)楽章を決定する。

※注意 (1) いずれも暗譜演奏すること。

(2) 繰り返しは自由。但し、ソナタ形式の提示部については繰り返ししないこと。

(3) 演奏するすべての曲の作曲者、作品番号、楽章、調名を願書に明記すること。

(4) 1については7分以上12分程度までとする。

(5) 1については、変奏曲の抜粋は認めない。

(6) 2について、以下の曲は除く。

作品10から3, 6, 9 作品25から1, 2, 7

(7) 2について、作品番号にかかわらず2曲を選択することも可。

(例：10-1 10-2 あるいは25-4 25-5 あるいは10-1 25-4)

(8) 時間の都合上カットすることがある。

弦楽専攻

下記の課題を演奏すること。

- ※注意 (1) 選択した曲目及び調名を願書に明記すること。
 (2) 全ての課題は伴奏なしで暗譜演奏すること。(繰り返し及びダ・カーポはしない。)
 (3) コントラバスについてのみ、楽器を持参できない場合は本学で用意するので、楽器を持参するか否かを願書に記入すること。
 (4) 時間の都合上カットすることがある。

*ヴァイオリン

(第1日) 下記の中から、いずれか1曲を選択し、その第1楽章と第2楽章(ただし Lalo のスペイン交響曲においては第1楽章と第4楽章)を演奏すること。

- M. Bruch : 協奏曲 第1番 ト短調 作品26
 A. Dvořák : 協奏曲 イ短調 作品53
 (Adagio ma non troppo から Finale の前までを第2楽章とする。)
 E. Lalo : スペイン交響曲 ニ短調 作品21
 F. Mendelssohn : 協奏曲 ホ短調 作品64
 N. Paganini : 協奏曲 第1番 ニ長調 作品6
 (オリジナル版により演奏すること。カデンツァはなし。)
 C. Saint-Saëns : 協奏曲 第3番 ロ短調 作品61
 J. Sibelius : 協奏曲 ニ短調 作品47
 P. Tchaikovsky : 協奏曲 ニ長調 作品35
 (第1楽章はカデンツァの前まで演奏すること。)
 H. Vieuxtemps : 協奏曲 第4番 ニ短調 作品31
 H. Vieuxtemps : 協奏曲 第5番 イ短調 作品37
 (カデンツァはなし。Adagio から Allegro con fuoco の前までを第2楽章とする。)
 H. Wieniawsky : 協奏曲 第1番 嬰へ短調 作品14
 (第1楽章はカデンツァの前まで演奏すること。)
 H. Wieniawsky : 協奏曲 第2番 ニ短調 作品22

- (第2日) 1 C. Flesch : Scale System より No.5, 6, 7, 8, 9, 10 ただし No.6 ~ No.9 は最初の4小節のみとする。
 ○調性は任意であるが、全て同一の調性であること。
 ○リズム及びボウイングはハ長調に準ずる。ただし No.6, 7, 8, 9, 10 は4分音符単位(16分音符4個分)で、スラーをかけることとする。
 ○速度は No.5 はメトロノームで4分音符 = 80 以上, No.6 ~ 10 は8分音符 = 60 以上で演奏すること。
 2 下記の中から、いずれか1曲を選択し、演奏すること。
 P. Rode : 24Caprices
 J. Dont : Étüden und Capricen 作品35
 N. Paganini : 24Caprices 作品1 (ただし17番冒頭及び24番の繰り返しはすること。)

＊ヴィオラ

(第1日) 下記の中から、いずれか1曲を選択し、演奏すること。

Carl Stamitz:協奏曲 ニ長調 作品1 第1楽章及び第2楽章(版は自由とする。カデンツァを除く。)

J. Christian Bach:協奏曲 ハ短調 第2楽章及び第3楽章 (SALABERT 版を使用すること。カデンツァを含む。)

A. Hoffmeister:協奏曲 ニ長調 第1楽章及び第2楽章(IMC 版を使用すること。カデンツァを除く。)

C. M. v. Weber: Andante e Hungarian Rondo (IMC 版を使用すること。)

M. Reger: Suite 作品131d No.1 第1楽章及び終楽章

G. Enesco: Concert piece

(第2日) 1 C. Flesch: Scale System より No.5, 6, 7, 8

ただし No.6, 7, 8 は最初の4小節のみとする。

○調性は任意であるが、全て同一の調性であること。

○リズム及びボウイングはハ長調に準ずる。ただし No.6, 7, 8 は8分音符単位(16分音符2個分)で、スラーをかけることとする。

○速度は任意である。

2 B. Campagnoli: 41 Caprices 作品22より任意の1曲を選択し演奏すること。(版は自由とする。)

＊チェロ

(第1日) E. Lalo:協奏曲 ニ短調 より第1楽章を演奏すること。

(第2日) 1 J. Loeb の Gammes et arpèges (Billaudot 版)を参照のうえ、ニ長調による下記(a)から(f)までの課題を演奏すること。

(a) 4オクターヴにわたる単音の音階(スラーは1弓8音↓=100以上)

(b) 4オクターヴにわたる単音分散3度の音階(スラーは1弓8音↓=100以上)

ハ長調の例



(c) 4オクターヴにわたるアルペジオ(スラーは1弓6音↓=60以上)

(d) 2オクターヴにわたる重音3度の音階(スラーは自由↓=80以上)

(e) 2オクターヴにわたる重音6度の音階(スラーは自由↓=80以上)

(f) 1オクターヴにわたる重音8度の音階(スラーは自由↓=80以上)

(注) (d) (e) (f) の音階を始める音域は任意とする。また運指は全て自由とする。

2 J. Duport: Etudes より第9番ニ短調 Allegro moderato を演奏すること。試験当日の演奏時間は5分までとする。

※上記全ての課題曲の版は自由とする。

第一次試験

*コントラバス

(第1日) 任意ソナタの第1楽章及び第2楽章又は協奏曲の第1楽章を演奏すること。

(第2日) 1 下記 (a) ~ (d) までの音階及びアルペジオの課題を演奏すること。(速度は自由。スラーの変更可。)

2 F. Simandl : 30 Etudes for the String Bass より第17番を演奏すること。

(a)



(b)



(c)



(d)



管・打楽専攻

以下の楽曲を演奏すること。

- ※注意 (1) 下記の第2日の楽曲は、いずれも暗譜演奏すること。(繰り返しはしない。)
 (2) 伴奏者は、いずれも本学において準備するので、同伴しないこと。
 (3) 時間の都合上カットすることがある。

＊フルート

- (第1日) E. Köhler : 12 Medium Difficult Exercises 作品33 第Ⅱ巻の中から当日指定する曲(版の指定なし。)
 (第2日) W. A. Mozart : 協奏曲 第1番 ト長調 K. 313 (K6. 285C) 第1楽章(カデンツァを除く。)

＊オーボエ

- (第1日) W. Ferling : 48 Etudes op.31 (Gerard Billaudot 版) より第11番, 第14番, 第19番, 第21番, 第26番, 第33番, 第35番, 第36番, 第40番, 第44番の中から当日指定する曲
 (第2日) J. Haydn : 協奏曲 ハ長調 Hob. Vllg : C1 第1, 第2楽章 (Breitkopf 版)

＊クラリネット

- (第1日) 1 R. Eichler : Scales for Clarinet の各調1・2番をレガート, スタッカートで演奏すること。
 (当日指定する調を暗譜で演奏すること。)
 2 C. Rose : 32 Etudes (Alphonse Leduc 版) より第7番, 第10番, 第11番, 第16番, 第17番, 第20番, 第23番, 第26番, 第29番, 第32番の中から当日指定する曲。
 (第2日) Carl Maria von Weber : Concertino Es-Dur 作品26

＊ファゴット

- (第1日) J. Weissenborn : Fagott Studien 作品8 第2巻より第1番から第15番までのの中から当日指定する曲(繰り返しなし, 版の指定なし)
 (第2日) G. P. Telemann : Sonata f-moll 第1楽章, 第2楽章(版の指定なし。)

＊サクソフォン

- (第1日) W. Ferling : 48 Etudes pour tous les saxophones (Alphonse Leduc 版) より第7番, 第14番, 第17番, 第22番, 第29番, 第30番, 第31番, 第36番, 第43番, 第48番の中から当日指定する曲
 (第2日) A. Grazounov : Concerto en mi bémol (Alphonse Leduc 版) 冒頭から練習番号第16番まで演奏すること。

＊ホルン

- (第1日) C. Kopprasch : Sixty Selected Studies (C. Fischer 版, 繰り返しなし) より第7番, 第12番, 第13番, 第15番, 第16番, 第19番, 第23番, 第25番, 第27番, 第28番の中から当日指定する曲
 (第2日) W. A. Mozart : 協奏曲 第4番 変ホ長調 KV. 495 全楽章より当日指定(ただし第3楽章は第99小節目まで, カデンツァなし)

＊トランペット

- (第1日) 1 E. F. Goldman : Practical Studies for the Trumpet より第19番 Cadenzasの中から当日指定する曲 (C. Fischer 版)
2 OSKAR BOEHME : 24 MELODIC STUDIES in all tonalities Opus20 より第7番～第18番の中から当日指定する曲
なお、曲を演奏する前に、それぞれの調の音階を最初はテヌートで、リピート後は最後の分散和音までスタッカートで一息で演奏すること。
- (第2日) G. Alary : Morceau de Concours

＊トロンボーン

- (第1日) Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社) より第10番, 第13番, 第15番, 第17番, 第19番, 第21番, 第22番, 第25番, 第31番, 第40番の中から当日指定する曲 (繰り返しなし)
- (第2日) F. David : Konzertino 変ホ長調 Op.4 第1楽章 (Zimmermann 版を使用すること。練習番号 D まで演奏)

＊バス・トロンボーン

- (第1日) Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社) より第8番, 第11番, 第13番, 第17番, 第22番の中から当日指定する曲 (繰り返しなし。第13番, 第17番, 第22番はオクターブ下で演奏すること)
Ostrander : Melodious Etudes for Bass Trombone (C. Fischer 版) より
第6番, 第10番, 第16番の中から当日指定する曲
- (第2日) F. David : Konzertino 変ロ長調第1楽章 (Zimmermann 版を使用すること。練習番号 D まで演奏)

＊チューバ

- (第1日) 1 C. Kopprasch : 60 Selected Studies より第5番, 第7番, 第8番, 第9番, 第10番, 第11番, 第12番, 第13番, 第14番, 第15番の中から当日指定する曲
2 M. Bordogni : 43 Bel Canto Studies より第2番～第10番の中から当日指定する曲
- (第2日) W. S. Hartley : Suite for Unaccompanied Tuba (Elkan-Vogel 版) より第1楽章, 第2楽章, 第4楽章

***打 楽 器**

打楽器 (A)、打楽器 (B) のいずれかを選択して演奏すること。(A, B いずれを選択したか、また A については選択した曲名を願書に明記すること。小太鼓については立奏、座奏いずれも可。両日とも小太鼓およびスタンドは持参すること。)

打楽器 (A)

- (第 1 日) (ア) Morris Goldenberg : Modern school for snare drum より 47 ページ < Roll exercise in 4/4 II >, 48 ~ 49 ページ < Etude in 6/8 > の中から当日指定する曲
- (イ) Heinrich Knauer : Kleine Trommelschule (Friedrich Hofmeister Musikverlag) より, 第 25 番, 第 28 番, 第 29 番, 第 30 番の中から当日指定する曲
- (ウ) 下記の楽曲の中から一曲を選択し, 本学で用意するマリimbaで演奏すること。版の選択は任意。暗譜で演奏すること。
- J. S. Bach : ソナタ 第 1 番 ト短調 BWV1001
- J. S. Bach : パルティータ 第 1 番 ロ短調 BWV1002
- J. S. Bach : ソナタ 第 2 番 イ短調 BWV1003
- J. S. Bach : パルティータ 第 2 番 ニ短調 BWV1004 より Ciaccona
- J. S. Bach : ソナタ 第 3 番 ハ長調 BWV1005
- J. S. Bach : パルティータ 第 3 番 ホ長調 BWV1006

(第 2 日) 第 1 日目の (ウ) に同じ

打楽器 (B)

- (第 1 日) (ア) Morris Goldenberg : Modern school for snare drum より 47 ページ < Roll exercise in 4/4 II >, 48 ~ 49 ページ < Etude in 6/8 > の中から当日指定する曲
- (イ) Heinrich Knauer : Kleine Trommelschule (Friedrich Hofmeister Musikverlag) より, 第 25 番, 第 28 番, 第 29 番, 第 30 番の中から当日指定する曲
- (ウ) Siegfried Fink : Trommel-Suite より Intrada Toccata Mista Marcia (暗譜で演奏すること。)
- (エ) J. S. Bach : パルティータ 第 3 番 ホ長調 BWV1006 より Bourée Gigue (本学で用意するマリimbaで演奏すること。版の選択は任意。暗譜で演奏すること。)

(第 2 日) 第 1 日目の (ウ) に同じ

声乐専攻

(第1日) 自由曲：歌曲あるいはアリア1曲（宗教曲も含む）。演奏時間は4分程度とする。ただし、課題曲以外のものを選ぶこと。

(第2日) 課題曲：下記の15曲の中から各自4曲を選ぶこと。その中から当日2曲を指定する。

- | | |
|-------------------|-----------------------------|
| (1) C. Monteverdi | Lasciatemi morire ! |
| (2) S. Rosa | Star vicino |
| (3) F. Durante | Vergin, tutto amor |
| (4) B. Pergolesi | Se tu m'ami |
| (5) G. Paisiello | Chi vuol la zingarella |
| (6) G. B. Bassani | Dormi, bella |
| (7) A. Scarlatti | Toglietemi la vita ancor |
| (8) A. Vivaldi | Vieni, vieni, o mio diletto |
| (9) F. P. Tosti | Sogno |
| (10) S. Donaudy | Vaghiissima sembianza |
| (11) P. Cimara | A una rosa |
| (12) F. Schubert | Das Rosenband |
| (13) J. Brahms | Wiegenlied |
| (14) 山田 耕作 | 鐘が鳴ります |
| (15) 平井 康三郎 | ふるさとの |

※注意

- (1) 試験の際の演奏は暗譜とする。
- (2) 曲はすべて原語で演奏することが原則であるが、慣例として認められている訳語は可。
- (3) 自由曲で、オペラ及びオラトリオ等のアリアは原調によるものとするが、慣例として移調されて歌われるものはその限りではない。
- (4) 選択した曲名、作曲者名及び調性を願書に明記すること。（提出後の調性の変更は認めない。）
- (5) 自由曲及び課題曲については、時間の都合上、カットすることがある。
- (6) 伴奏者は、両日とも本学において準備するので、同伴しないこと。

平成30年度（2018年度）
京都市立芸術大学音楽学部入学試験問題
音楽学 英語

I. 次の文章を読んで設問に答えなさい。＊答えは解答用紙に書くこと。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しています。

(Mark Slobin. *Folk Music, A Very Short Introduction*. Oxford: Oxford University Press, 2011)

〔註〕

reticence: silence, restraint

expenditure: expense

1. 下線①の文を日本語に訳しなさい。
2. 下線②の many other factors として思い当たるものを一つかきなさい。(解答は英語でも日本語でもよい。)
3. 空所（１）を埋めるのにもっとも適切な語を次から選んで、その記号を書きなさい。
a. small b. free c. minimal d. restricted
4. 空所（２）を埋めるのにもっとも適切な語を次から選んで、その記号を書きなさい。
a. professional b. entertainer c. hero d. player
5. 空所（３）を埋めるのにもっとも適切な単語を書きなさい。

II. 次の文章を読んで設問に英語で答えなさい。 * 答えは解答用紙に書くこと。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しています。

(Karen Collins. 'I'll be back': Recurrent Sonic Motifs in James Cameron's *Terminator* films. In *Off the Planet*, ed. Philip Hayward. Eastleigh: John Libbey, 2004.)

〔注〕

T1: Terminator 1

T2: Terminator 2

foundry: a factory in which metal or glass is melted and formed into particular shapes

1. Who is John Connor' father?
2. What kind of characteristics does the T-1000 model have?
3. Do you think that humans will fight machines (cyborgs) in the future?
(字数に制限はありません。)

III. 次の英文を読んで後の設問に答えなさい。＊答えは解答用紙に書くこと。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しています。

(出典：Zimmer, C. Soul Made Flesh: The Discovery Of The Brain - And How It Changed The World, 2004, Cox & Wyman Ltd, Reading)

Alcmaeon	ギリシャの哲学者
milestone	重要な物事・出来事
reluctant	気が進まない
dissect	解剖する
cadaver	屍体
afterlife	死後の世界
burial	埋葬
reportedly	噂によれば
penetrate	貫通する
skull	頭蓋
recesses	奥まった部分

- (1) 下線部aの和訳をしなさい。
- (2) 下線部bはいつ頃のことを指すか答えなさい。 ("twenty-five hundred years later" の和訳では正解としません)
- (3) 下線部cが指す内容を本文中から抜き書きしなさい。
- (4) 下線部dとほぼ同じ意味になるものは次のどれになるかを選び、その記号で答えなさい。
 (A) medical doctors
 (B) physicists
 (C) scientists
- (5) 破線下線部eの和訳をしなさい。
- (6) 下線部fの和訳をしなさい。
- (7) 次の英文の質問に対して、問題文の内容に則して英文で答えなさい。
 Why were ancient Greeks reluctant to dissect dead bodies?
- (8) この英文の記載に従うと、古代ギリシャ人はなぜ呼吸が人の生命維持に必要と考えていたと思われるか。日本語で説明しなさい。

平成30年度（2018年度）
京都市立芸術大学音楽学部入学試験問題
音楽学 小論文

いわゆるクラシック音楽にしてもポピュラー音楽にしても、「名作」と評されている楽曲が存在します。また、「名演」として語り継がれている演奏もあります。では、「名作」を名作たらしめているもの、あるいは「名演」を名演たらしめているものとはなんでしょうか？ あなた自身の関心に沿い、具体的な例を挙げて論じなさい。

平成 30 年度
京都市立芸術大学音楽学部入学試験

音楽通論 問題用紙

I. 譜例 1 を見て、以下の問いに答えなさい。(計 45 点)

- (1) ①～⑤で示された部分の調をドイツ語で書きなさい。(2 点×5)
- (2) ①の調の下属音を主音とする和声的短音階を、調号を用いなくて、解答用紙に示された譜表に書きなさい。(3 点)
- (3) ②の調の導音を主音とする長調の主要三和音を、調号を用いなくて、解答用紙に示された譜表に書きなさい。(3 点)
- (4) ③の調のⅡ度の和音の第一転回形を、解答用紙に示された譜表に書きなさい。(3 点)
- (5) ④の調の属音を、第七音とする属七の和音の第二転回形を、調号を用いなくて、解答用紙に示された譜表に書きなさい。(3 点)
- (6) ⑤の調の導音を属音とする短調の旋律的短音階上行形と下行形を、調号を用いなくて、解答用紙に示された譜表に書きなさい。(3 点)
- (7) 次の設問の【 】に入る調性を(1)の①～⑤から選んで書き入れなさい。(2 点×5)
 - ア. 【 】は②の下属調である。
 - イ. 【 】は③の属調である。
 - ウ. ②は【 】の平行調の同主調である。
 - エ. ④の平行調は、【 】の属調の同主調である。
 - オ. 【 】の平行調の属音を導音とするのは③である。
- (8) ㉔～㉖の音程、および㉗～㉙の転回音程を、例にならって書きなさい(例:長3度)。
ただし複音程は単音程になおすこと。(1 点×10)

II. 譜例 2 を見て、以下の問いに答えなさい。(計 55 点)

- (1) ①～⑩の楽語の意味を書きなさい。(2 点×10)
- (2) ⑪～⑮の楽語の完全なつづりを書きなさい。(1 点×5)
- (3) ㉔～㉙の和音と同じ種類の和音を、解答用紙に示された a～j の和音から選びなさい。
(2 点×10)
- (4) 冒頭の 3 小節間を減 5 度下に移調して、解答用紙に示された譜表に、調号を用いなくて書きなさい。(10 点)

譜例 1

[illegible]

譜例 2

8-

33

9

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

86

87

88

89

90

91

92

93

94

95

96

97

98

99

100

101

102

103

104

105

106

107

108

109

110

111

112

113

114

115

116

117

118

119

120

121

122

123

124

125

126

127

128

129

130

131

132

133

134

135

136

137

138

139

140

141

142

143

144

145

146

147

148

149

150

151

152

153

154

155

156

157

158

159

160

161

162

163

164

165

166

167

168

169

170

171

172

173

174

175

176

177

178

179

180

181

182

183

184

185

186

187

188

189

190

191

192

193

194

195

196

197

198

199

200

201

202

203

204

205

206

207

208

209

210

211

212

213

214

215

216

217

218

219

220

221

222

223

224

225

226

227

228

229

230

231

232

233

234

235

236

237

238

239

240

241

242

243

244

245

246

247

248

249

250

251

252

253

254

255

256

257

258

259

260

261

262

263

264

265

266

267

268

269

270

271

272

273

274

275

276

277

278

279

280

281

282

283

284

285

286

287

288

289

290

291

292

293

294

295

296

297

298

299

300

301

302

303

304

305

306

307

308

309

310

311

312

313

314

315

316

317

318

319

320

321

322

323

324

325

326

327

328

329

330

331

332

333

334

335

336

337

338

339

340

341

342

343

344

345

346

347

348

349

350

351

352

353

354

355

356

357

358

359

360

361

362

363

364

365

366

367

368

369

370

371

372

373

374

375

376

377

378

379

380

381

382

383

384

385

386

387

388

389

390

391

392

393

394

395

396

397

398

399

400

401

402

403

404

405

406

407

408

409

410

411

412

413

414

415

416

417

418

419

420

421

422

423

424

425

426

427

428

429

430

431

432

433

434

435

436

437

438

439

440

441

442

443

444

445

446

447

448

449

450

451

452

453

454

455

456

457

458

459

460

461

462

463

464

465

466

467

468

469

470

471

472

473

474

475

476

477

478

479

480

481

482

483

484

485

486

487

488

489

490

491

492

493

494

495

496

497

498

499

500

501

502

503

504

505

506

507

508

509

510

511

512

513

514

515

516

517

518

519

520

521

522

523

524

525

526

527

528

529

530

531

532

533

534

535

536

537

538

539

540

541

542

543

544

545

546

547

548

549

550

551

552

553

554

555

556

557

558

559

560

561

562

563

564

565

566

567

568

569

570

571

572

573

574

575

576

577

578

579

580

581

582

583

584

585

586

587

588

589

590

591

592

593

594

595

596

597

598

599

600

601

602

603

604

605

606

607

608

609

610

611

612

613

614

615

616

617

618

619

620

621

622

623

624

625

626

627

628

629

630

631

632

633

634

635

636

637

638

639

640

641

642

643

644

645

646

647

648

649

650

651

652

653

654

655

656

657

658

659

660

661

662

663

664

665

666

667

668

669

670

671

672

673

674

675

676

677

678

679

680

681

682

683

684

685

686

687

688

689

690

691

692

693

694

695

696

697

698

699

700

701

702

703

704

705

706

707

708

709

710

711

712

713

714

715

716

717

718

719

720

721

722

723

724

725

726

727

728

729

730

731

732

733

734

735

736

737

738

739

740

741

742

743

744

745

746

747

748

749

750

751

752

753

754

755

756

757

758

759

760

761

762

763

764

765

766

767

768

769

770

771

772

773

774

775

776

777

778

779

780

781

782

783

784

785

786

787

788

789

790

791

792

793

794

795

796

797

798

799

800

801

802

803

804

805

806

807

808

809

810

811

812

813

814

815

816

817

818

819

820

821

822

823

824

825

826

827

828

829

830

831

832

833

834

835

836

837

838

839

840

841

842

843

844

845

846

847

848

849

850

851

852

853

854

855

856

857

858

859

860

861

862

863

864

865

866

867

868

869

870

871

872

873

874

875

876

877

878

879

880

881

882

883

884

885

886

887

888

889

890

891

892

893

894

895

896

897

898

899

900

901

902

903

904

905

906

907

908

909

910

911

912

913

914

915

916

917

918

919

920

921

922

923

924

925

926

927

928

929

930

931

932

933

934

935

936

937

938

939

940

941

942

943

944

945

946

947

948

949

950

951

952

953

954

955

956

957

958

959

960

961

962

963

964

965

966

967

968

969

970

971

972

973

974

975

976

977

978

979

980

981

982

983

984

985

986

987

988

989

990

991

992

993

994

995

996

997

998

999

1000

第二次試験

平成 30 年度
京都市立芸術大学音楽学部入学試験

音楽通論 解答用紙

受験番号

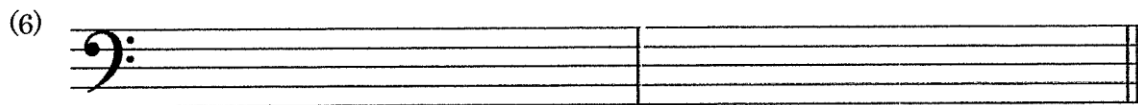
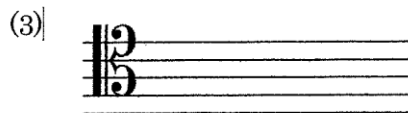
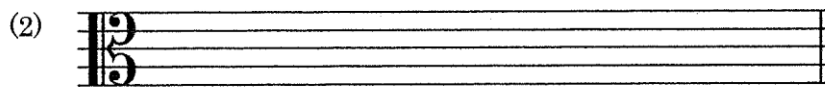
I.(1)①

②

③

④

⑤



(7) ア【 】 イ【 】 ウ【 】 エ【 】
オ【 】

- (8) ①あ ②い ③う
④え ⑤お
⑥か ⑦き ⑧く
⑨け ⑩こ

第二次試験

Ⅱ.(1) ①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

(2) ⑪

⑫

⑬

⑭

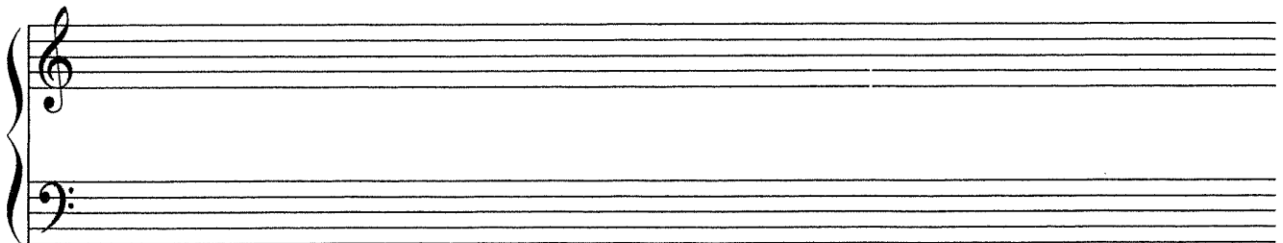
⑮

(3)



- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| あ | い | う | え | お |
| か | き | く | け | こ |

(4)



第二次試験

平成 30 年度 京都市立芸術大学音楽学部入学試験

旋律聴音

$\text{♩} = 100$

4

7

9

3

第二次試験

平成 30 年度 京都市立芸術大学音楽学部入学試験

和声聴音[作曲, 指揮, ピアノ]

$\text{♩} = 40$

Handwritten musical score for piano, measures 1-8. The score is in treble and bass clefs, key of D major (two sharps), and 4/4 time. The tempo is marked as quarter note = 40. The melody is in the right hand, and the accompaniment is in the left hand. The key signature changes to D minor (two flats) at measure 8.

平成 30 年度 京都市立芸術大学音楽学部入学試験

和声聴音[弦楽, 管・打, 声楽, 音楽学]

$\text{♩} = 40$

Handwritten musical score for piano, measures 1-8. The score is in treble and bass clefs, key of D major (two sharps), and 4/4 time. The tempo is marked as quarter note = 40. The melody is in the right hand, and the accompaniment is in the left hand. The key signature changes to D minor (two flats) at measure 8.

第二次試験

平成 30 年度 京都市立芸術大学音楽学部入学試験

新曲視唱

Moderato (♩=80)

mf legato

f *sub.p* *3* *mf* *poco riten.*

第二次試験

平成 30 年度 京都市立芸術大学音楽学部入学試験

コールユーブンゲン視唱



平成30年度京都市立芸術大学音楽学部入学試験 ピアノ専攻 新曲視奏

Andantino ♩ = 92

Piano

sf *mf* *cantabile*

4

7

sub.p 3 3 3 3 3 3

9

3 3 3 3 3 3 3 3

第二次試験

11

Ped. *Ped.* *Ped.*

12

sf *f*

14

cresc. molto *ff* *dim.* *sotto voce* *sffz*

gva

Detailed description: The musical score consists of three systems of piano music. The first system (measures 11-12) features a treble clef with a 3/4 time signature and a bass clef with a 4/4 time signature. Measure 11 has a long, flowing arpeggiated line in the treble and a few chords in the bass. Measure 12 continues this pattern. The second system (measures 12-13) shows a continuation of the arpeggiated lines, with a crescendo leading into measure 13. The third system (measures 14-15) begins with a treble clef and a bass clef. Measure 14 has a complex arpeggiated pattern in the treble and a similar pattern in the bass. Measure 15 continues this pattern. The score includes various dynamic markings: *Ped.* (pedal) in measures 11, 12, and 13; *sf* (sforzando) and *f* (forte) in measure 12; *cresc. molto* (crescendo molto) in measure 14; *ff* (fortissimo) in measure 14; *dim.* (diminuendo) in measure 15; *sotto voce* (sotto voce) in measure 15; and *sffz* (sforzando fortissimo) in measure 15. A slur labeled *gva* (glissando) is placed over the treble staff in measure 15.

各専攻副科ピアノ課題曲

副科ピアノの課題曲については、次のとおりとします。

- 1 音階：次の調性の中から同一調子記号による長調と短調を当日指定する。
速度は♩ = 76 M. M. 以上。
ハ長調 ト長調 ニ長調 イ長調 ヘ長調 変ロ長調 変ホ長調
イ短調 ホ短調 ロ短調 嬰ヘ短調 ニ短調 ト短調 ハ短調
(注) ハノン第 39 番による。長調の音階は繰り返し演奏し、終止形をつけて終わる。短調は、和声的及び旋律的短音階の両方を一度ずつ続けて演奏し、終止形をつけて終わる。
- 2 (A) J. S. Bach：平均律ピアノ曲集 第 2 巻より 前奏曲とフーガ 第 15 番 ト長調 BWV884 (前奏曲については繰り返しをしないこと)。
(B) J. S. Bach：2 声のインヴェンション BWV772～786 より 1 曲又はシンフォニア (3 声のインヴェンション) BWV787～801 より 1 曲を自由選択
ただし、インヴェンション第 10 番ト長調、シンフォニア第 5 番変ホ長調、シンフォニア第 6 番ホ長調を除く。
(C) R. Schumann：ユーゲントアルバム (子供のためのアルバム) 作品 68 より 第 5 番 Stückchen 小曲
(注) ※作曲及び指揮専攻志願者は、上記 1 は必ず、2 は (A) (B) の中から 1 つを選択し、演奏すること。
※弦楽、管・打楽、声楽及び音楽学専攻志願者は、上記 1 は必ず、2 は (A) (B) (C) の中から 1 つを選択し、演奏すること。
※全て暗譜で演奏すること。(繰り返しはしない。)

2018 年 4 月

京都市立芸術大学 事務局 入試担当

〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町 13-6

Tel 075-334-2238

Fax 075-334-2281

<http://www.kcua.ac.jp>